

ホテル評論家 瀧澤信秋の 「イケてる」レジャーホテル探訪

ラグジュアリーホテルからビジネスホテル、カプセルホテル、そしてレジャーホテルと、さまざまな宿泊空間を利用者の視点から「体感」するホテル評論家・瀧澤信秋氏。同氏が実際に利用者として体感した最新のレジャーホテルの「感動」空間、「イチ押し」サービスをレポートする。



ホテル評論家
瀧澤 信秋氏

PROFILE

日本で数少ない宿泊者・利用者目線のホテル評論家として、テレビやラジオへの出演、雑誌・新聞連載など、多方面で活躍。著書に「365日365 ホテル上」(マガジンハウス)、「ホテルに騙されるな! プログが教える絶対失敗しない選び方」(光文社新書)、「ホテル評論家が自腹で泊まる! 最強のホテル100」(イースト・プレス)、「辛口評論家、星野リゾートへ泊まってみた」(光文社新書)など <https://sites.google.com/view/hoteltakizawa/>

+=ホテル (福岡市博多区)

一般ホテルコンバージョンの成否は メディアへのフック

2025年8月1日、全12室の宿泊特化型ホテル「+=ホテル」がグランドオープンした(6月16日プレオープン)。プロジェクトに際しては筆者が監修を担当した。レジャーホテルから一般ホテルのコンバージョンともいえるケースであるが、一般ホテルとして継続的な運営を鑑みつつフィーチャーした点などについて詳説したいと思う。

ホテル名の“+=”とは全12室の十二、12か月の十二を意味し、01~12の12室の号数はそれぞれの月をコンセプトにしている。海外のライフスタイルホテルやブティックホテルのような隠れ家ホテル、と一般ホテル視点からは評論家目線では表することはできるが、換言すればレジャーホテルの要素と符合するポイントでもある。

流行のオールインクルーシブもキーワードに加えた。書棚に囲まれたシックなラウンジに隣接したスペースには、大型冷蔵庫・冷凍庫があり、冷蔵庫にはソフトドリンクから各種アルコール、デザートやおつまみなど、冷凍庫にはコンビニエンスストアを彷彿とさせる冷凍食品のラインナップ。さらに奥にはワインセラーがありオールインクルーシブに含まれる(ワインセラーの設置された客室対象)。

全室にサウナを擁し(一部スチームサウナ・岩盤浴・水風呂専用浴槽など)、サウナハットやボンチョ、サウナアロマなどサウナーも納得のラインナップである。また、インシャルコストも考慮し一部客室には業務用製氷機を設置、ドリンクの冷却にはもちろん、好みの水温での冷水浴に資する仕掛けも。

パブリックスペースの大型冷蔵庫内・冷凍庫内の豊富な品揃え同様に数年来、筆者が発信してきた選択肢というワードから選ぶ楽しみも鑑みつつ、客室には数種のドライヤー、客室タイプによっては冷蔵庫のほかに専用冷凍庫も設置、人気ブランドのアイスクリームもサービスされる。また、36個のネスプレッソコーヒーカートリッジやシャワーヘッドのセレクト、海外の人気ブランドアメニティーなど癒しと潤いの滞在が実現できる(客室タイプにより内容が異なる)。

いろいろ書き連ねてきたが、さまざまなサービス提供の共通項はメディアへのフックである。一般メディアへの露出は憚られ念頭にないレジャーホテルと異なる意識として、一般ホテルにとって成否を左右するのがメディアだ。自身の仕事から長年に渡り実感してきたテーマであり、メディア露出がホテルを成功へ導いてきた例を多くみてきた。メディア露出の基本はメディアに取り上げられるコンテンツづくりである。

メディアは常に新しく斬新でセンセーショナルな情報を求めているが、そこへフックさせる仕掛けを作るわけだ。メディアへフックし発信された情報がホテルへ効いてくるのは半年~1年のスパンとなるが、発信を続けることで蓄積され続けホテル名がブランドとなり盤石な価値をつくっていく。

+=ホテル

福岡市博多区東平尾1-16-25
TEL.092-623-6383

